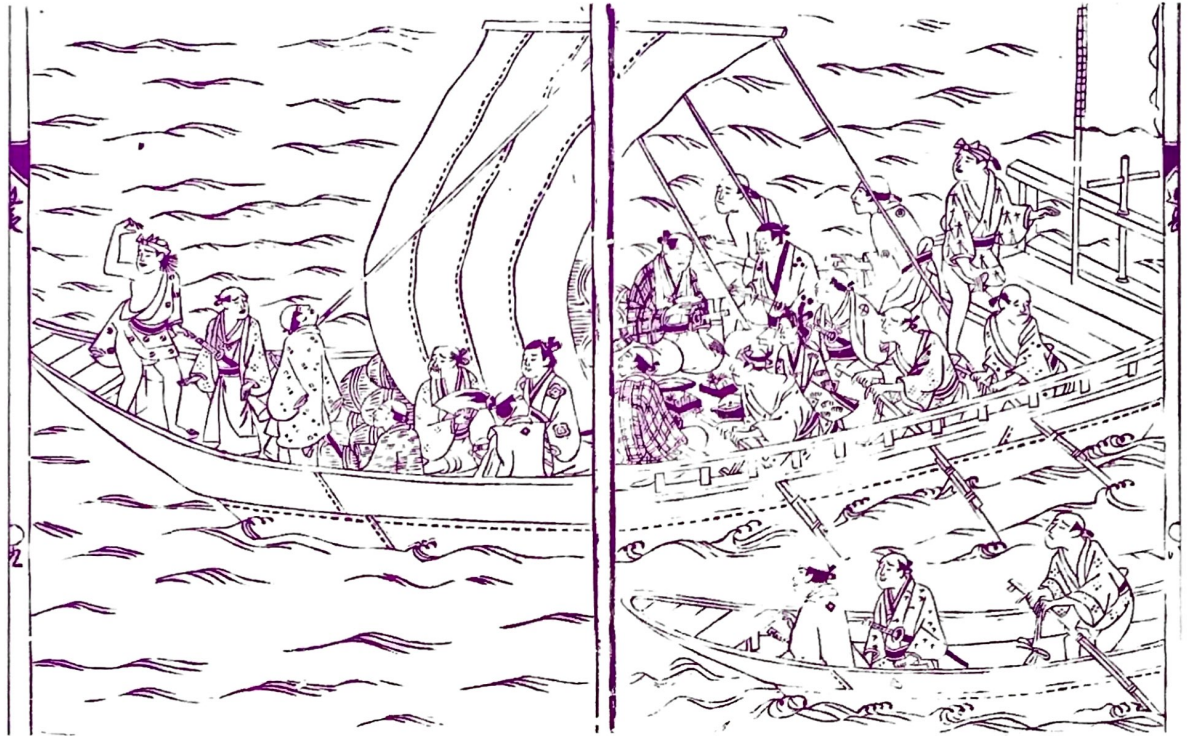


「西鶴忌」の開催について

江戸時代を代表する文人、西鶴（1642～1693）は、若くから談林俳諧の旗手として活躍し、浄瑠璃作品も残すと共に、晩年は主に浮世草子作家として『好色一代男』『好色五人女』『本朝二十不孝』『懐視』『日本永代蔵』『世間胸算用』など、多くの傑作を残し、数え年五十二歳で八月十日（旧暦）に亡くなりました。

今年も菩提寺誓願寺様のご協力を得、西鶴の顕彰供養と記念講演を下記のように行うことになりました。加えて今年度は「西鶴忌」を盛り上げるために「米朝事務所」の協力を得て、落語を一席お願いしています。

ぜひ、大阪の皆様に限らず、この機会に「西鶴はん」を再認識していただければと存じます。



プログラム

13:00～ 誓願寺境内 西鶴墓前

供養

13:30～ 誓願寺本堂

講演 「西鶴と大坂俳壇の人々」

関西学院大学文学部教授 森田 雅也

14:30～

落語 桂 團治郎



〔総合進行〕 関西学院大学文学部教授 森田 雅也

日時 2018年9月9日(日) 13:00～15:00

場所 大阪府中央区上本町西 4-1-21 誓願寺

〈アクセス〉

近鉄大阪線「上本町」駅より徒歩6分／市営地下鉄「谷町九丁目」駅より徒歩8分

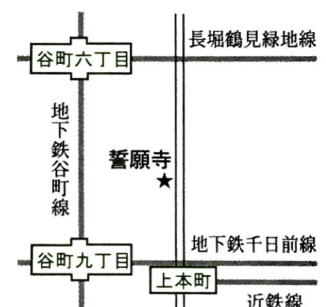
※当日は車でのご来場はお断りします。

講演参加無料。供養献花料、落語会入場料として1,000円のご賛助をお願いします。

問い合わせ先

「西鶴忌」実行委員会代表 森田 雅也

E-mail: m-morita@kwansei.ac.jp TEL/FAX. 0798-54-6855



主催：「西鶴忌」実行委員会
後援：日本近世文学会、俳文学会
制作協力：米朝事務所